

【広島県安芸高田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

中央教育審議会による『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』では、ICTの活用に関する基本的な考え方として、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものであり、ICTの活用により教育の質の向上に繋げていくことが求められている。

安芸高田市においても「第4次安芸高田市教育振興基本計画」を策定し、1人1台端末を含めたICT機器の活用により児童生徒の情報活用能力や思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的な学びを促す教育活動の推進を目指している。

2. GIGA第1期の総括

国が示したGIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度に1人1台端末を1,900台整備し、同時に各学校に高速通信ネットワーク・充電保管庫を整備した。

ネットワークの構築においては、ある程度の帯域確保が必要なため、各学校から直接インターネットに接続するローカルブレイクアウト方式を採用した。

また、令和3年度からICT支援員を配置し、学校における授業支援、ICT活用の助言、トラブル対応等を行っている。

しかしながら、学習環境の情報化が進むにつれ、教員間のICT活用能力の格差が顕著となり、さらにICT活用に長けた教員が異動し、学校にノウハウが蓄積されない課題も生じている。

これらを解決するため、ICT機器の扱いに不慣れな教員を対象に研修を行うなど、能力の底上げを図る必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

学習者用デジタル教科書、協同学習向けのクラウドツールを導入し、1人1台端末の積極的活用を図る。

不登校児童生徒・外国人児童生徒には1人1台端末の活用により、授業への参加・視聴の機会を提供し、学習活動を支援する。

ICT支援員の継続配置・ICT研修の充実により、教員のICTスキルアップを目指す。

以上を実現するため、端末の整備・更新に実施により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持する。